

三豊市南部火葬場やすらぎ苑 ふるさとの風景の中で心ゆくまでの見送りができる空間の創出



北側から建物全体を望む



南側のメインアプローチ廻り

計画概要

計画概要

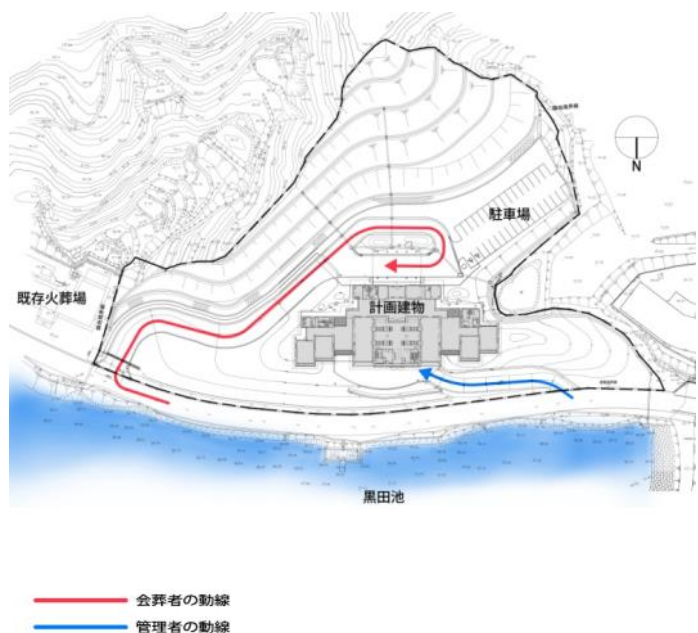
三豊市南部火葬場やすらぎ苑は、既存火葬場の老朽化に伴い、移転建て替えとして三豊市が建設した斎場である。

計画地は山林が広がり北側には黒田池が位置する。本計画では、土地の改変を抑えるため既存の段状の地形の活用や掘削土の場内流用を積極的に行った。また、黒田池を中心とした三豊市の風景が拡がる建物北側に開口部を設けることで、ふるさとの情景の中でお見送りができる施設構成とした。

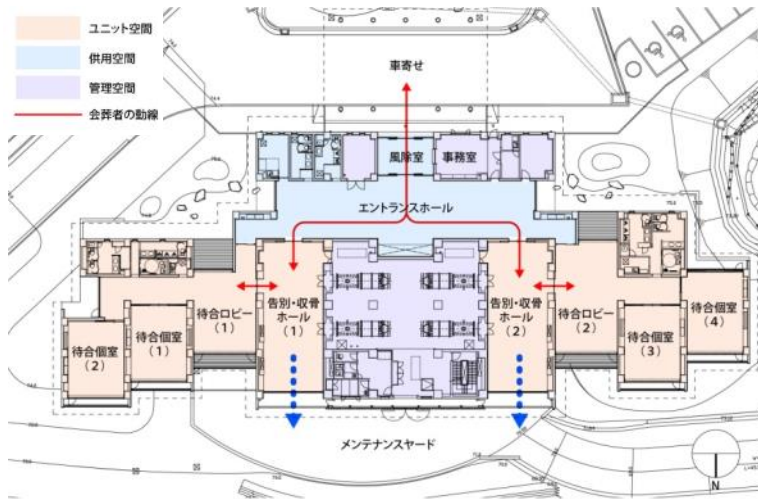
ユニット型の空間構成

告別・見送り・待合・収骨をひとつのユニットで心ゆくまで行える空間構成とした。

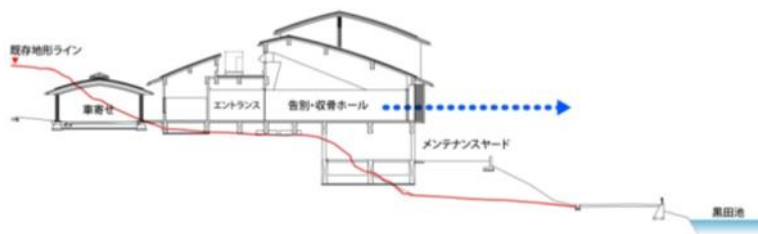
ユニット化することで、会葬者ごとのプライバシーが確保できるほか、告別・収骨ホールと待合空間が近接しており一体感のある空間とできる。また、ユニットごとの運営が可能となり、稼働率が低い時には片方のユニットを停止させておけるなどランニングコストを低減できる。



配置計画



平面計画及び動線



断面計画



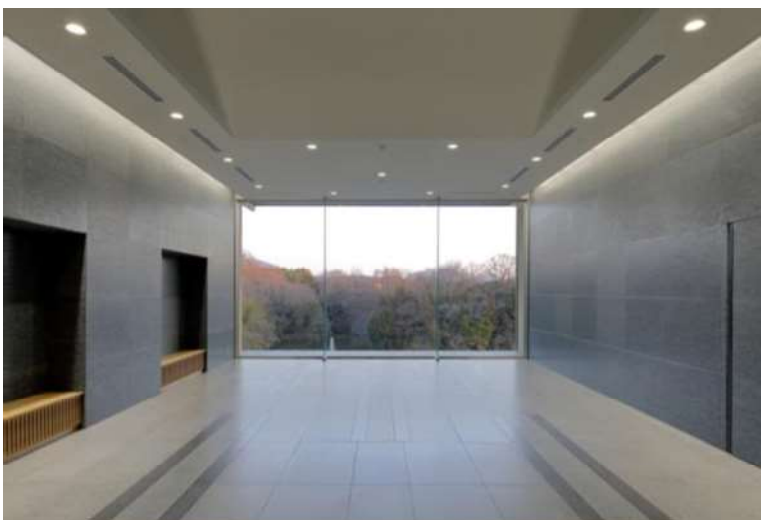
エントランスホール



天空光がエントランスホールに優しく降り注ぐ



待合空間はすべて黒田池に開かれている



告別・収骨ホールより黒田池を望む



待合ロビー

■ 建築概要

施設名称	三豊市南部火葬場やすらぎ苑
設置者	三豊市
所在地	三豊市山本町神田乙 601-1 ほか
敷地面積	15,548.31 m <sup>2</sup>
建築面積	1,825.21 m <sup>2</sup>
延床面積	2,075.69 m <sup>2</sup>
主要施設	火葬炉 4 基、告別・収骨ホール 2 室、待合個室 4 室、待合ロビー 2 室、事務室、授乳室

駐車台数	一般乗用車 31 台、身障者用 2 台
階数	地上 2 階地下 1 階
構造	RC 造一部鉄骨造

■ 設計・施工

設計監理	株式会社 山下設計 関西支社
施工	建築工事 富士建設株式会社
	電気工事 村上電機工業株式会社
	機械工事 三喜工事株式会社
	火葬炉工事 株式会社宮本工業所